

### 平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	「わいわい広場」の建設事業
事業主体 (連絡先)	株式会社地食地産
事業区分	(6) 産業振興、雇用拡大 (ア 特徴ある観光地づくり)
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	6,066,394 円 (うち支援金: 4,710,000 円)

#### 事業内容

1. 「音泉苺」栽培用ベンチの製作  
農業用木造ハウスの中に、ウオーターカーテンで覆われた苺栽培用ベンチ (2 段式、43m×10 列) を製作した。
2. 「直売所」の設置  
「わいわい広場」の芝生スペースに、JR のコンテナを活用した「直売所」を設置した。
3. 芝生スペース周辺への花壇設置  
間伐材を利用した「丸太プランター」30 個を芝生スペースの周辺に配置し培養土を詰めて、来年度花の苗を定植できる状態にした。



【 苺 ベ ン チ 】

#### 【目標・ねらい】

- ① 温泉苺による集客
- ② 直売所での地元食材の紹介・販売
- ③ イベントスペースの整備

#### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 温泉苺の収穫・販売は平成 31 年 7 月以降になるが、その基盤となる苺栽培用ベンチ、及び冬季防寒対策設備 (ウオーターカーテン、廃湯水路) が整った。
- ② 地元が誇る発酵食品 (漬物、味噌、醤油など) や、季節の青果物などを陳列・販売する拠点ができる。また、直売所に並べる商品の提供者 (加工業者、農家) とのチャンネルも出来つつある。
- ③ 芝生スペース (イベントスペース) 周囲に並べる丸太プランターは、間伐材の利活用の一提案であり、4 月～5 月にかけてここに定植する花とともに、芝生スペースに親しみや潤いを生み出す。

#### ※自己評価 【 B 】

##### 【理由】

わいわい広場が生み出す賑わいや集客効果は、来年度から現れるが、現在多くの地元住民がわいわい広場の活動や事業に期待している。

#### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

わいわい広場は 4 月 25 日に直売所とイベントからスタートし、4 月に立ち上げるわいわい広場のウェブサイトで、広場の活動とこれに繋がる浅間温泉の情報を取り上げてゆく。6 月にはカフェ (とトイレ) を設置し、7 月から始まる温泉苺の収穫・販売を加えて、浅間温泉の賑わいの創出に向けた活動に取り組んで行く。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある